



平成24年10月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年6月14日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社TASAKI

コード番号 7968 URL <http://www.tasaki.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役・代表執行役社長 (氏名) 田島 寿一

問合せ先責任者 (役職名) 人事総務部IR担当マネージャー (氏名) 田中 雅彦

TEL 080-2461-3910

四半期報告書提出予定日 平成24年6月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年10月期第2四半期の連結業績(平成23年11月1日～平成24年4月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年10月期第2四半期	7,904	4.9	△224	—	△274	—	△304	—
23年10月期第2四半期	7,532	△9.4	△463	—	△563	—	△588	—

(注) 包括利益 24年10月期第2四半期 △210百万円 (—%) 23年10月期第2四半期 △541百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年10月期第2四半期	△17.30	—
23年10月期第2四半期	△33.44	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年10月期第2四半期	18,254	11,144	60.8
23年10月期	18,317	11,314	61.8

(参考) 自己資本 24年10月期第2四半期 11,103百万円 23年10月期 11,314百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年10月期	—	—	—	—	—
24年10月期	—	—	—	—	—
24年10月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年10月期の連結業績予想(平成23年11月1日～平成24年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,000	11.9	△900	—	△1,100	—	△1,200	—	△68.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年10月期2Q	3,780,566 株	23年10月期	3,780,566 株
② 期末自己株式数	24年10月期2Q	182,197 株	23年10月期	181,869 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年10月期2Q	3,598,620 株	23年10月期2Q	3,598,967 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

2. 平成24年5月1日付で株式併合(10株を1株)をしておりますが、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、以下の開示項目を算定又は記載しております。

- ・1. 平成24年10月期第2四半期の連結業績(1)連結経営成績(累計)「1株当たり四半期純利益」
- ・3. 平成24年10月期の連結業績予想「1株当たり当期純利益」
- ・4. その他(4)発行済株式数(普通株式)「期末発行済株式数(自己株式を含む)」「期末自己株式数」「期中平均株式数(四半期累計)」

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) セグメント情報等	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要等により持ち直しの動きが見られましたが、欧州債務危機などを背景とした海外経済の減速や長期化する円高と株価低迷の影響から、引き続き厳しい状況のまま推移いたしました。

宝飾業界におきましては、景気の先行き不透明感からの消費の低迷と顧客嗜好の多様化、また業界内の競争激化等により、環境は厳しい状況下にありました。

このような状況のもと、当社グループは従来より重点的に進めておりましたブランド戦略が確実に成果を現し、伊勢丹新宿店をはじめとする有力百貨店への出店並びに、バーニーズニューヨーク銀座店などの主要セレクトショップへの展開を図ることもできました。また引き続きこれらの成果を支えるブランド認知を向上させるため、マーケティング活動を積極的に実施し、4年ぶりに採用した新入社員を含め、販売スタッフの接客スキルをさらに向上させるための独自の取り組みを行うことなどにより販売拡大を進めております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間におきましては、売上高は79億4百万円（前年同四半期比4.9%増）、営業損益は2億24百万円の損失（前年同四半期は4億63百万円の損失）、経常損益は2億74百万円の損失（前年同四半期は5億63百万円の損失）、また四半期純損益は3億4百万円の損失（前年同四半期は5億88百万円の損失）となりました。また、EBITDA（※）は、前々期（△5億92百万円）、前期（△1億97百万円）の赤字から回復を果たし、57百万円の黒字を達成いたしました。

※EBITDA＝営業利益＋減価償却費＋その他償却費＋現金流出を伴わない費用

詳細につきましては、当社ホームページIR情報「株主・投資家様への説明資料」をご参照下さい。
（当社ホームページ：<http://www.tasaki.co.jp/>）

セグメントの概況は、以下のとおりであります。

小売事業

小売事業につきましては、国内市場の冷え込みはありますがブランド戦略効果と経費削減効果等により、当第2四半期連結累計期間の売上高は57億92百万円（前年同四半期比8.4%増）、セグメント損失は6億12百万円（前年同四半期は8億47百万円の損失）となりました。

卸売事業

卸売事業につきましては、主にダイヤモンド・真珠の素材販売に注力したこと等により、当第2四半期連結累計期間の売上高は21億12百万円（前年同四半期比3.5%減）、セグメント利益は3億85百万円（前年同四半期比2.1%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

（資産、負債、純資産の状況）

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ63百万円減少し182億54百万円となりました。なかでも、主に流動資産においては現金及び預金が5億81百万円増加し、及び、たな卸資産が3億39百万円減少し、そして、固定資産においては敷金及び保証金が1億90百万円減少しております。

負債の部につきましては、前連結会計年度末と比べ1億7百万円増加し71億10百万円となりました。これは、主に長期借入金が1億7百万円減少したものの、未払金の増加1億55百万円、及び、支払手形及び買掛金の増加84百万円によるものであります。

純資産の部につきましては、前連結会計年度末と比べ1億70百万円減少し111億44百万円となりました。これは、主に当第2四半期連結累計期間の純損失計上による利益剰余金の減少3億4百万円によるものであります。なお、平成24年1月27日開催の定時株主総会の決議に基づき平成24年3月1日付で減資を実施したことにより、資本金が74億円減少し、資本剰余金が28億20百万円及び利益剰余金が45億79百万円各々増加しております。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績につきましては、平成23年12月13日に公表いたしました連結業績予想から変更はございません。

なお、業績予想は、現時点において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

・固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

第1四半期連結会計期間より、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」(企業会計基準第2号平成22年6月30日)、「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第4号平成22年6月30日)及び「1株当たり当期純利益に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第9号平成22年6月30日)を適用しております。

当第2四半期連結貸借対照表日後に株式併合を行いました。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算定にあたり、一定期間の勤務後に権利が確定するストック・オプションについて、権利の行使により払い込まれると仮定した場合の入金額に、ストック・オプションの公正な評価額のうち、将来企業が提供されるサービスに係る分を含める方法に変更しております。

(4) 追加情報

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号平成21年12月4日)を適用しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

当社グループは、前連結会計年度で7期連続の当期純損失を計上し、当第2四半期連結累計期間においても四半期純損失を計上することとなり、継続企業の前提に関する重要事象は生じておりますが、当該状況を解消すべく、財務面とブランド力の強化に注力しております。

財務面におきましては、取引金融機関よりブランド再構築途上の当社事業改革への理解を踏まえた支援を得ており、付与されている財務制限条項の抵触は回避できております。

なお、当第2四半期連結会計期間末日後翌1年間において事業継続のために必要な資金は十分に確保しております。

また、前述の、「1. 当四半期決算に関する定性的情報(1) 連結経営成績に関する定性的情報」の記載にありますように、ブランドの刷新・価値向上を強力に進めており、その成果が現れております。

以上により、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないものと考えております。

当社グループは、これらを遂行することにより、早期の業績回復と企業価値の増大を目指しております。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,854,637	2,435,664
受取手形及び売掛金	705,139	625,405
たな卸資産	9,940,874	9,601,725
繰延税金資産	2,269	—
その他	1,075,385	1,151,835
貸倒引当金	△13,856	△9,165
流動資産合計	13,564,450	13,805,465
固定資産		
有形固定資産	2,923,089	2,821,458
無形固定資産	129,431	123,509
投資その他の資産	1,700,625	1,504,114
固定資産合計	4,753,146	4,449,082
資産合計	18,317,596	18,254,548
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	391,423	476,133
1年内返済予定の長期借入金	215,574	215,574
未払法人税等	67,103	45,430
賞与引当金	46,691	2,340
資産除去債務	3,166	—
その他	656,780	847,416
流動負債合計	1,380,738	1,586,895
固定負債		
長期借入金	2,254,508	2,146,721
繰延税金負債	56,987	52,309
再評価に係る繰延税金負債	63,637	56,505
退職給付引当金	3,028,021	3,056,291
資産除去債務	168,133	169,460
その他	50,972	42,109
固定負債合計	5,622,261	5,523,398
負債合計	7,003,000	7,110,294
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,500,000	100,000
資本剰余金	8,809,343	11,629,566
利益剰余金	△3,885,473	389,908
自己株式	△792,264	△792,425
株主資本合計	11,631,604	11,327,049
その他の包括利益累計額		
土地再評価差額金	82,747	89,879
為替換算調整勘定	△399,755	△312,945
その他の包括利益累計額合計	△317,008	△223,065
新株予約権	—	40,270
純資産合計	11,314,596	11,144,253
負債純資産合計	18,317,596	18,254,548

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年11月1日 至平成23年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年11月1日 至平成24年4月30日)
売上高	7,532,100	7,904,600
売上原価	3,192,172	3,292,614
売上総利益	4,339,927	4,611,985
販売費及び一般管理費	4,803,348	4,836,735
営業損失(△)	△463,421	△224,750
営業外収益		
受取利息	3,019	1,706
為替差益	32,577	11,285
工事負担金等受入額	8,862	8,862
雑収入	20,032	14,840
営業外収益合計	64,491	36,694
営業外費用		
支払利息	63,191	78,579
借入手数料	62,336	—
雑損失	39,023	7,431
営業外費用合計	164,551	86,010
経常損失(△)	△563,481	△274,066
特別利益		
固定資産売却益	4,320	1,365
貸倒引当金戻入額	4,167	—
新株予約権戻入益	120,391	—
特別利益合計	128,880	1,365
特別損失		
固定資産除売却損	3,081	1,676
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	88,223	—
減損損失	—	3,097
その他	142	320
特別損失合計	91,447	5,095
税金等調整前四半期純損失(△)	△526,049	△277,796
法人税、住民税及び事業税	29,405	28,733
法人税等調整額	33,084	△2,134
法人税等合計	62,489	26,598
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△588,539	△304,394
四半期純損失(△)	△588,539	△304,394

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年11月1日 至平成23年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年11月1日 至平成24年4月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△588,539	△304,394
その他の包括利益		
土地再評価差額金	—	7,131
為替換算調整勘定	47,142	86,810
その他の包括利益合計	47,142	93,942
四半期包括利益	△541,396	△210,452
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△541,396	△210,452
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年11月1日 至平成23年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年11月1日 至平成24年4月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△526,049	△277,796
減価償却費	282,284	247,501
減損損失	—	3,097
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△15,966	△5,914
賞与引当金の増減額(△は減少)	△94,915	△44,350
退職給付引当金の増減額(△は減少)	64,170	28,269
受取利息及び受取配当金	△3,029	△1,716
支払利息	63,191	78,579
為替差損益(△は益)	△22,947	△29,156
固定資産除売却損益(△は益)	△1,239	311
株式報酬費用	—	40,270
売上債権の増減額(△は増加)	△38,015	98,301
たな卸資産の増減額(△は増加)	221,504	410,544
未収入金の増減額(△は増加)	458,970	△88,533
仕入債務の増減額(△は減少)	44,087	67,813
未払金の増減額(△は減少)	△310,659	161,415
新株予約権戻入益	△120,391	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	88,223	—
その他	58,160	26,896
小計	147,380	715,536
利息及び配当金の受取額	838	1,716
利息の支払額	△113,630	△82,008
法人税等の支払額	△54,086	△68,324
営業活動によるキャッシュ・フロー	△19,498	566,919
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△14,464	△13,922
定期預金の払戻による収入	589,395	13,838
有形固定資産の取得による支出	△434,184	△94,645
有形固定資産の売却による収入	15,197	4,040
敷金及び保証金の回収による収入	259,461	208,659
その他	△22,844	△13,567
投資活動によるキャッシュ・フロー	392,561	104,403
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	1,500,000	—
長期借入金の返済による支出	△2,336,987	△107,787
その他	△279	△160
財務活動によるキャッシュ・フロー	△837,266	△107,947
現金及び現金同等物に係る換算差額	14,445	16,582
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△449,757	579,957
現金及び現金同等物の期首残高	3,552,114	1,839,579
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,102,356	2,419,537

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成22年11月1日 至 平成23年4月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	小売事業	卸売事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,342,743	2,189,356	7,532,100	—	7,532,100
セグメント間の内部売上高 又は振替高	120,110	135,937	256,047	△256,047	—
計	5,462,853	2,325,294	7,788,148	△256,047	7,532,100
セグメント利益又は損失(△)	△847,473	377,635	△469,838	6,416	△463,421

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額6,416千円は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成23年11月1日 至 平成24年4月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	小売事業	卸売事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,792,538	2,112,061	7,904,600	—	7,904,600
セグメント間の内部売上高 又は振替高	111,266	145,257	256,523	△256,523	—
計	5,903,804	2,257,319	8,161,124	△256,523	7,904,600
セグメント利益又は損失(△)	△612,527	385,725	△226,802	2,052	△224,750

(注) 1 セグメント損失(△)の調整額2,052千円は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成24年3月1日付で、資本金の額の減少及び剰余金の処分を行っております。

この結果、当第2四半期連結累計期間において資本金が7,400,000千円減少し、当第2四半期連結会計期間末において資本金が100,000千円となっております。資本金の減少により増加する資本剰余金のうち、4,579,776千円を利益剰余金に振替えることにより、欠損の填補を行い、資本剰余金は11,629,566千円となり、利益剰余金は389,908千円となっております。